

おぞの

尼崎市立小園小学校 学校だより

令和元年 9月27日

No.7

家庭学習にご協力を

校長 平野 真紀

明日はいよいよ体育大会です。短い練習期間でしたが、子どもたちは実に真剣に頑張ってきました。全校生揃っての練習はたった2回（2時間）だったのですが、真剣な態度と懸命な姿は、素晴らしい体育大会になることを確信させてくれました。

さて、国立教育政策研究所から今年度の「全国学力・学習状況調査」の結果が公表されました。詳細は後日改めてお知らせしますが、いくつかある課題の中で、特にご家庭にご協力をお願いしたいことをお知らせします。それは、宿題と予習・復習を含めた家庭学習の時間を確保し、習慣をつけるようサポートしていただきたいということです。

下の表は、平日の家庭学習の時間（塾等含む）と各教科の正答率をクロス集計したものです。家庭学習の大切さが顕著に表れています。※全国平均です。

平日の家庭学習時間 / その児童の割合	国語正答率(%)	算数正答率(%)
3時間以上 / 12.7%	73.6	76.0
2時間以上3時間より少ない / 16.9%	66.8	68.5
1時間以上2時間より少ない / 36.6%	65.5	67.5
30分以上1時間より少ない / 23.9%	60.1	63.7
30分より少ない / 7.5%	52.0	57.8
全くしない / 2.2%	44.3	51.4

家庭学習が0分～30分未満の子は、最も割合の多い1～2時間する子と比較して、国語で約15ポイント、算数では約11ポイント下回っています。3時間以上する子とでは国語で約23ポイント、算数で約20ポイントの差があるのです。

今現在家庭学習の習慣がついていない子どもには、まず丁寧に宿題を仕上げることから始めさせましょう。低学年でも最低30分、高学年なら90分以上をめやすにし、宿題の次は復習、時間があれば予習まで。これを毎日の家庭生活の中に習慣として組み込むことができれば、学校の授業の理解度と定着度は飛躍的に上がります。とにかく、例外を作らず、毎日必ずするよう、ご家庭でも声をかけてあげてください。



